



## 申14号2月18日提出

# 簡易型乗用除雪機械「とらん丸」に関する申し入れ

2018年に信越本線で発生した444Mが雪を抱え停車した対策の一つとして、簡易型乗用除雪機械「とらん丸」が導入されました。導入にあたり目的や性能、取り扱うにあたっての教育体制等について団体交渉を通じ労使で議論してきました。

導入からの8年で駅間や駅構内で雪を抱え列車が停止する事象が発生している中でも使用されない「とらん丸」を維持するために費用や整備・教育のための時間がかかっています。また、駅間で列車が止ることがないような運転整理を行うなど、導入当時とは環境が変化した中で、本当に必要なのかという疑問がでています。

東日本ユニオンは申14号を提出し「とらん丸」に関する会社の考え方を質していきます。

### 申14号申し入れ項目

1. 「とらん丸」の導入目的を明らかにすること。
2. 「とらん丸」を使用する考え方や基準を明らかにすること。
3. 「とらん丸」の配備箇所と配備台数を明らかにすること。
4. 「とらん丸」の導入以降の本線上での使用した実績を明らかにすること。
5. 「とらん丸」の年間維持費用を明らかにすること。
6. 「とらん丸」を今後使用する場合の考え方を明らかにすること。

## 使用されない設備にいつまで経費と手間をかけるのか？